

株式会社 東海理化



- 所在地 愛知県丹羽郡大口町豊田
三丁目260(本社・本社工場)
- 設立 昭和23年 8月
- 従業員 20,083人



株東海理化トウホク外観イメージ



地元の キラリ 企業

特別編

地元での就職を考える若者向けに、市内の企業を紹介します

愛知県に本社を構え、自動車部品を製造販売する『株東海理化』。同社は昨年9月に秋田県や横手市との立地協定を締結しました。今後は横手第二工業団地に東北初の拠点となる『株東海理化トウホク』を建設し、令和7年1月に操業を開始する予定です。

今回は株東海理化トウホク代表取締役社長の福田さん、工務係長の柴山さん、生産係長の桑下さんにインタビューしました。

●社長さんのひとこと

弊社グループは愛知県を中心に、スイッチ類やシートベルト、キーロックなどの自動車部品を製造販売しており、世界16カ国44社で事業を展開しています。納入先はトヨタ自動車系が60%以上を占めており、宮城県にあるトヨタ自動車東日本(株)をはじめとした取引先の要望に迅速に対応するため、東北地方への進出を検討していました。横手市に決めた理由としては、自治体の支援が手厚いことや、高速道路などの交通網が発達していることが挙げられます。(株)東海理化トウホクは今後、地域の雇用促進や製造業の育成支援などを通じて東北地方の活性化に貢献するとともに、地域に根付き愛される会社となるべく取り組んでいきます。



代表取締役社長
福田 一成さん

●係長さんのひとこと

私たちは『快適・安心・安全』をキーワードとしたモノづくりに取り組んでいます。車に関する幅広い分野の製品を生産しているため、多様化するニーズにも対応できるのが強みです。盗難防止を目的とした指紋認証式のエンジンスイッチや、子どもやペットの車内置き去りを防ぐためのセンサー開発などにも力を入れています。

(株)東海理化トウホクでは、アウターミラーや電気信号式のシフトレバーなどの製品を生産します。電気信号式のシフトレバーは、自動運転や自動駐車に必要不可欠な部品です。「人とクルマの間に生まれる感動をかたちに」をテーマに、新たな価値を創造していきます。



工務係長
柴山 恭亮さん

●係長さんのひとこと

(株)東海理化トウホクは令和7年の操業当初に70人体制でスタートし、その2年後には120人体制を目指します。弊社グループは福利厚生が充実しており、子育て中の方でも仕事を続けやすいのが特長です。また製造業が初めての方でも、研修制度が整っているのでご安心ください。

元気で明るく、謙虚さと感謝の気持ちを大切にできる方とぜひ一緒に働きたいと思っています。



生産係長
桑下 結香さん



▲今年の横手の雪まつりでは、社員自作のかまくらで観光客をもてなしました

イリソ電子工業株式会社



本社外観

●所在地
本社 神奈川県横浜市港北区新横浜
二丁目13-8
茨城工場 茨城県常陸大宮市上岩瀬714-1
●設立 昭和41年12月
●従業員 3,104人
令和7年4月 秋田工場操業開始予定



秋田工場外観イメージ



ベトナム工場



茨城工場

地元のキラリ企業 特別編

地元での就職を考える若者向けに、市内の企業を紹介します

神奈川県に本社を構える大手コネクタメーカー『イリソ電子工業株式会社』。同社は昨年3月に秋田県や横手市との立地協定を締結しました。今後は、茨城工場に次いで国内2カ所目となる新工場を横手第二工業団地に建設し、令和7年4月に操業を開始する予定です。

今回は地元のキラリ企業『特別編』として、茨城県常陸大宮市にある茨城工場に伺いインタビューしました。

●社長さんのひとこと



代表取締役社長
鈴木 仁さん

弊社グループは車載向けのコネクタを中心に製造しており、そのノウハウを生かして全ての電子機器に幅広く展開し、総合コネクタメーカーとして発展してきました。

自動車の電動化により需要が高まることを見据え、主力製品の生産拡大を考えていました。横手市への進出を決めた理由としては、弊社最大規模の工場敷地が確保できることに加え、日本海側の内陸部で比較的災害が少ないことが挙げられます。また、創業者の佐藤定雄会長が十文字地域出身という縁もあります。

地域の皆さんと共に『横手ブランド』となるようなモノづくりを目指し、日本一そして世界一のコネクタメーカーへと成長していきたいです。

●工場長さんのひとこと



茨城工場長
川野辺 信彦さん

私たちは主に自動車のパワートレイン（動力伝達装置）などに使われる特殊なコネクタを製造しています。車両内部に使われるため表には見えませんが、電子回路をつなぐ重要な部品です。常に信頼性を追求し、高温や衝撃などの悪環境に耐え得る製品を開発しています。

現在は車載分野で培ってきた技術を他分野の製品開発に生かし、また、他分野で開発した最新技術を車載分野にも取り入れています。この相乗効果が弊社の強みです。

茨城工場では多くの社員を地元から雇用しており、令和7年に操業開始予定の秋田工場でも地元の皆さんと一緒に地域に根差した工場を作りたいと思っています。

●センパイのひとこと



入社10年目
菊池涼太さん、清水真希さん



▲秋田県出身の新入社員の皆さんも茨城工場での研修中です(後列左から時計回りに佐藤さん、照井さん、村上さん、吉田さん)

幼い頃からモノづくりに興味があり、地元でやりたい仕事ができることに魅力を感じて入社しました。自分たちが作った製品が自動車などの身近なものに使われているのでやりがいを実感しています。

スキルのある先輩社員が多いので相談しやすく、福利厚生が充実していて働きやすいです。新卒社員向けにベトナムでの海外研修などもあり、自己成長につながります。



地元の キラリ 企業

地元での就職を考える若者向けに、市内の企業を紹介します

有限会社 落月堂



- 所在地 横手市十字町西原
一番町74
- 設立 平成16年7月
- 従業員 28人(令和5年7月現在)
- 電話 0182-42-0206

有限会社落月堂は和菓子や洋菓子の製造・販売を手掛けている会社です。製品の6割以上を県内のスーパーや道の駅、空港などに卸しており、県民になじみの深い商品を数多く生み出しています。地域に密着したお店作りを大切に、毎年地元の学校から工場見学や職場体験を受け入れているほか、今後は観光庁の『地域一丸となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業』に参画して見学・体験型事業を展開する予定です。

代表取締役の佐藤さんは「職人の五感を大切にしながらも、工程をデータ化してきちんと品質管理することに会社全体で取り組んでいます。作り手が自信を持って出荷できることで取引先の増加へとつながり、今では首都圏を中心に販路も拡大しています。職場では話しやすい雰囲気づくりを心掛け、『いつでもニコニコわくわく』遊び心を根底に持つことを社風としています」と話してくれました。

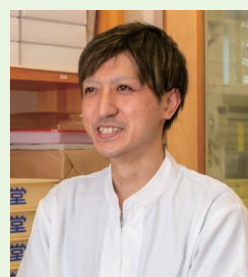
●代表取締役さんのひとこと



代表取締役
佐藤 博彦さん

20年ほど前に菓子づくりに悩み、関東から先生を招いて『蒸す』『焼く』などの製造基礎を見直しました。中心温度を測って火の通り具合を確かめたり、糖度計を用いて甘さを数値化したりと、当時では目からうろこで多くの学びがありました。それから「おいしさの裏には安全・安心がある」をモットーに、徹底した品質管理でぶれない味わいのお菓子をお届けしています。

●センパイのひとこと



工場長
山田 聖也さん

お菓子が好きでモノづくりに興味があり入社しました。25歳で工場長に抜てきされたときは不安で躍起になっていましたが、周りの方々の支えがあり、会社一丸となって取り組むことが大切だと気付かされました。「土台がしっかりしていればキラリと輝く商品が生まれる」という佐藤代表取締役の教えのもと、地道な作業も積み重ねれば結果につながることが学びました。



▲主力商品はまんじゅうやどら焼きなどのお茶菓子。幅広い世代に愛されています



▲菓子づくりに向かう山田工場長。餅菓子を手際よく整形して並べていきます



地元の キラリ 企業

地元での就職を考える若者向けに、市内の企業を紹介します

中央鋼建株式会社 秋田工場



- 所在地 横手市柳田12-13
- 開設 平成14年1月
- 従業員 14人(令和5年9月現在)
- 電話 0182-23-6751

中央鋼建株式会社は仙台に本社を置く鋼製建具メーカーで、秋田工場ではビルやマンション、ホテルなどの大型建物で使用されるスチールサッシの製造を手掛けています。鋼製建具にはミリ単位での正確性のほか、防火・防煙・防音などの機能性が求められますが、同社は高精度な技術に加え、最新鋭の機械の導入により、顧客のニーズにきめ細かに対応する姿勢が高く評価されています。

建築需要の高まりにこたえて生産設備の規模を拡大するため、平鹿地域にあった秋田工場を今年4月から横手第二工場団地内に移転しました。

工場長の小松さんは「鋼製建具の設計から製造、取り付けまで、全ての工程を自社で行っており、一つのモノが完成するまで携われるのが魅力です。今後、県内外の数多くの建物で当社の横手産建具が採用され、皆さんの生活に役立てるよう精進していきます」と話してくれました。

●工場長さんのひとこと



工場長
小松 忠司さん

当社が製造する建具は、建物に欠かせない『顔』となる部分であると同時に、防火・防煙などの『命を守る』役割も果たします。華やかな仕事ではありませんが、従業員は誇りを持ち成長を感じながら業務に励んでいます。ワークライフバランスの取れた職場で、地域雇用にも積極的です。これからも地域に根差した会社を目指していきますので、ぜひ一緒に働いてみませんか。

●センパイのひとこと



入社10年目
仙道 将司さん

小さな頃からモノづくりに興味があり、会社見学の際にサッシを作る職人がかっこよく見えたことがきっかけで入社しました。いろいろな建物や公共施設で自分たちが作ったスチールサッシやスチールドアが導入されているのを見るたびにやりがいを実感しています。職場内の雰囲気も良く、スキルのある先輩社員が多いので相談しやすい環境が整っています。



▲わずかな凹凸も建て付けに影響するため、削りやパテ処理で滑らかに仕上げます



▲仙道さんは塗装を担当。均一な仕上がりを意識してさび止め材を吹き付けます



地元の キラリ 企業

地元での就職を考える若者向けに、市内の企業を紹介します

浅舞酒造株式会社



- 所在地 横手市平鹿町
浅舞字浅舞388
- 設立 大正 6 年11月
- 従業員 10人(令和 5 年12月現在)
- 電話 0182-24-1030

浅舞酒造株式会社は大正6年から続く、100年以上の歴史を持つ酒蔵です。『酒は田んぼから生まれる』をモットーに、全量横手盆地産米による日本酒造りにこだわりの2011年からはアルコールを添加せずに米と米こうじ、水だけを原料とする『純米酒』のみを製造しています。

また酒造りの幅を広げるため、2022年には新たに果実酒製造の拠点を設け、横手産ブドウを原料にワインの製造を始めました。今後は横手盆地の休耕畑や田んぼを活用し、社員自らが酒米やブドウなどの原料づくりに携わる予定です。

代表取締役社長の柿崎さんは「おいしさを追求するのはもちろんのこと、『天の戸』らしい酒造りを大切に行っています。天の戸の魅力は、料理に優しく寄り添うところだと思います。これからは横手の食材に合う穏やかな日本酒を造っていきたいです」と話してくれました。



▲浅舞酒造では手間がかかるものの米のうま味が生きる糟しぼりにこだわります

『天の戸』という酒銘柄は、創業者の柿崎宗光が『天の戸は静かに明けて神路山杉の青葉に日陰さすみゆ』という古歌から命名しました。新たな扉が開かれるその時を表現したかのような古歌のとおりに、私たちの酒造りは伝統の中にも未来への挑戦が求められ続けています。世界からも日本酒が注目される今、失敗を恐れず新たなことに挑戦できる方を求めています。



代表取締役社長
柿崎 常樹さん

●社長さんのひとこと



▲佐々木さんの指導の下、水分量や温度を調整しながらこうじを作り上げます

最初は酒造りに興味がなく、ただの作業だと思っていました。しかし徐々に杜氏のこだわりや蔵人・従業員の人の柄の良さに気付き始め、数年経つ頃には酒造りが奥深く感じられるようになりました。技術を会得するのは本当に大変でしたが、今では経験が自分の力となり、主任を任せられるまでに成長できました。常に新しいことを取り入れ、挑戦させてくれる職場です。



入社10年目
佐々木 翔太さん

●センパイのひとこと



地元の キラリ 企業

地元での就職を考える若者向けに、市内の企業を紹介します

株式会社 フレンドール



- 所在地 横浜市旭川一丁目5-39
- 設立 昭和50年10月
- 社員 41人(令和6年1月現在)
- 電話 0182-32-8725

株式会社フレンドールは和菓子や洋菓子、パンの製造・販売を行う会社です。お店に足を運んでくれたお客さまを大切にしたい店づくりは、看板商品のメロンパンをはじめ、季節商品を含めて年間約300アイテムを取り扱っています。県内はもちろん県外からも多くの人が訪れる人気ぶりです。

代表取締役社長の金子さんは「地域の皆さまのおかげで来年創業50年を迎えます。これから『横手のフレンドール』として地元根を張り、お菓子・パンづくりを通じて地域との関わりを広げたいです。また現在『夢ケーキプロジェクト』を企画中です。夢をケーキで表現することをきっかけに夢を語り合おう。家族だんらんの時間、それが『夢ケーキ』です。夢を持って大人も子どもも輝きます。そんな人たちがいる『横手っていいね!』と言われる地域にしていきたいです」と話してくれました。

●社長さんのひとこと



代表取締役社長
金子 尚悦さん

お菓子やパンは、自分へのご褒美だったり、大切な方への贈り物だったり、そこには人を思う心があります。だからこそ、心を温かくするお菓子・パンづくりは人にしかできない仕事だと考えています。家族のだんらんや何気ない普段の語らい、記念日などに彩りを添えられるような商品を提供し、人の喜びを自分の喜びにできるような職場を目指していきたいです。

●センパイのひとこと



入社2年目
奥 実優さん、太田彩夏さん

お客さまとの距離が近く、声が届きやすい職場なのでやりがいを感じられます。先輩方は優しく、親しみやすく、困り事があっても親身に相談に乗ってくれます。みんなで意見交換しながら商品開発やお店作りをしています。経験の有無を問わずに温かく受け入れてくれる職場です。で、やる気と失敗を恐れず、心があれば大丈夫です。



▲定番商品はもちろん新商品もずらり。「みんなでアイデア出しや試作を繰り返して新商品を開発しています」と奥さん



▲太田さんは販売担当。店内には「販売スタッフおすすめ」と書かれたポップが並び、目移りしてしまいます



★地元の キラリ★ 企業★

地元での就職を考える若者向けに、市内の企業を紹介します

ティ・エル・ソーイング株式会社



- 所在地 横手市雄物川町
沼館字昼飯塚21
- 設立 昭和63年10月
- 従業員 30人(令和6年3月現在)
- 電話 0182-23-6190

ティ・エル・ソーイング株

式会社は、東京都に本社を置
くクリーンルーム用衣服の専
門メーカー『東洋リントフ
リー株式会社』の国内生産拠
点として、半導体や医療品の
製造ラインで着用する防じん
服、無菌服を生産しています。
海外では生産できない多品種
小ロットの製品や、難易度の
高い特注品の生産を小回りの
利く体制で生産し、安定供給
することを目指しています。

将来的な生産増を見据えた
規模拡大と人員の安定的な確
保のため、令和5年7月に由
利本荘市から雄物川地域に全
面移転しました。

代表取締役社長の鈴木さん
は「クリーンルーム用衣服の
性能・機能は年々変化してい
ます。その変化に確実に対応
する技術力をさらに向上させ
る必要があります。また、全
てを海外生産に依存できない
要素があり、国内生産は必要
不可欠ですので、生産力アッ
プに向けた準備を進めていま
す」と話してくれました。

●社長さんのひとこと



代表取締役社長
鈴木 正弘 さん

当社では生地を裁断するま
での工程が全てコンピュータ
で管理されています。裁断担
当者はデータ化された型紙を
パソコン内でレイアウトし、
自動裁断機やレーザー裁断機
により自動カットさせること
が業務の一つです。裁縫担当
者はフルデジタル化された工
業ミシンを使用し、一定の手
順によりスムーズに作業がで
きます。未経験者でも意欲が
あれば問題はありません。

●センパイのひとこと



入社3年目
遠藤 亜梨紗 さん

入社するまで機械やパソコ
ンでの作業経験がほとんどあ
りませんでした。最初は不安
でしたが、オペレーターや
レーザー裁断などを担当して
いくうちに、さまざまな知識
や経験が身に付いてきている
ことに気がきました。今では
それがやりがいの一つです。
『信頼のメイド・イン・ジャ
パンを誇る』を目標に未経験
者からでも成長できる環境が
整っている職場です。



▲レーザー裁断機は複雑な形状の裁断が
可能な上、ほつれにくいのが特徴です



▲コンピュータによる作業工程ではC A
DやC A Mを用いて型紙を作成します



地元の キラリ 企業

地元での就職を考える若者向けに、市内の企業を紹介します

株式会社 増田サントップ



- 所在地 横手市増田町
増田字伊勢堂南34
- 設立 昭和47年8月
- 従業員 134人(令和6年6月現在)
- 電話 0182-45-2461

株式会社増田サントップは紳士スーツやコート、ジャケットなどの委託加工を行っている会社で、アパレル企業数十社からの委託を受け製品を生産しています。受注から出荷までの一貫生産ができる会社として取引先から高い評価を得ています。

会社のモットーは『着るをつくる、服を作る、ぬくもりを創る』。お客さまに喜ばれる製品を提供するため、品質の維持・向上に努めています。時代のニーズを取り入れながら既製服からパターンオーダーまで、幅広く対応できるのが強みです。

工場長の生出さんは「業界全体が機械化による生産向上に取り組む中、着心地を追求するため手縫いを大切に、昭和47年の会社設立以来培ってきた技術の積み重ねが、多くの受注に結び付いています。この技術を次世代に継承できるように長く愛される『本物の服作り』を追い求めていきたいです」と話してくれました。

●工場長さんのひとこと



工場長
生出 高さん

創業以来、地域の企業として地域の皆さまの励ましで成長してきました。会社では、地域の皆さまに製品をお手頃な価格でお届けしたいと構想中です。工場見学も可能ですので、服が好きな方は、工場に遊びに来てみませんか？女性社員が80%を占める当社では、子育てや介護などにも配慮した職場環境を整えています。高い品質の服を製造するやりがいいある職場です。

●センパイのひとこと



入社7年目
高橋 遼さん

多くのブランドから受注がある中、自分の知っているブランドの服を作ってみたいと思い入社しました。昨年から襟作りグループのリーダーを務め、新しいデザインなど高い技術が求められる裁縫にやりがいを感じています。一つ一つ丁寧に仕上げ、お客さまに満足してもらえる製品を作っていきたいです。趣味が合う社員もいて、社員同士仲が良く楽しい職場です。



▲大型スチーム機で反物の生地のしわをなくした後、自動裁断機で裁断します



▲襟加工はパーツの形状に沿った曲線を縫い合わせる高度な技術が要求されます



地元の キラリ 企業

地元での就職を考える若者向けに、市内の企業を紹介します

ダイヤクラフト株式会社



- 所在地 横手市雄物川町
南形字蝦夷塚75-1
- 設立 平成2年7月
- 従業員 51人(令和6年8月現在)
- 電話 0182-22-5633

ダイヤクラフト株式会社は、金型設計とプラスチック成形を主とするものづくり企業です。令和4年8月に親会社であるダイヤモンドエレクトリックホールディングスグループの傘下となりました。現在は、令和6年10月の横手市への本社機能移転に向けて準備を進めています。

工場長の藤田さんは「同グループの方針である『お客様要求品質第一に徹する』の下、お客様の発展に寄与する製品を製造しています。さらに、同グループとなった現在も、当社が創業より培ってきた技術を生かしプラスチック成形部品の内製化を促進しています。取り扱う分野は、自動車部品や医療機器、カメラ部品の精密機器など多岐にわたりますが、ものづくりの根幹を支える企業として、横手市とスクラムを組み、地元採用を中心に『人財』の雇用と育成をさらに進めていきたいと考えています」と話してくれました。



▲会社設立時から得意とする技術の切削加工。一帯彫り加工の工程



▲金型に樹脂を流し込み、パーツを成型する作業工程

工場長のひとこと

当社では、自分が思い描く発想やデザインが形となる仕事が多くあり、高度な技術が必要としますが、経験を積む中で徐々に技術を身に付けることができます。社員は20代・30代が多く、若くて活気のある職場で、やりがいと責任を持つて業務に当たっています。地域貢献への取り組みとして地元の行事にも積極的に参加しています。地元からの就職を大いに歓迎します。



工場長
藤田 祐樹さん

大学卒業後、福祉医療関係の勤務を経て、製造業の経験がないまま転職し入社しました。現在は成形部門を担当し、樹脂成型を行っています。先輩方から教えてもらいながら仕事を覚え技術を身に付け、製品を作り上げることにより、やりがいを感じています。お客様の役に立つものづくりを、ゼロからでも挑戦できる職場です。ぜひ一緒に成長していきたいでしょう。



入社2年目
小國 悠さん



地元の キラリ 企業

地元での就職を考える若者向けに、市内の企業を紹介します

たいへいようざい

太平熔材株式会社 横手営業所



- 所在地 横手市柳田12-17
- 設立 昭和38年4月
- 従業員 22人(令和6年10月現在)
- 電話 0182-32-1892

太平熔材株式会社横手営業所は、産業用ガスや医療用ガス、プロパンガスなどの販売とともに、産業用機器や住宅関連機器の販売も行う会社です。さらに、地球環境に優しいクリーンなエネルギーの提案にも積極的に取り組んでいます。地域に密着した営業活動を行い、顧客のニーズを的確につかみ、魅力ある商品を提供する一貫した事業を展開することで、お客様に『任せて安心』と言われる企業を目指しています。

創業60周年となる令和5年12月に横手第二工業団地へ新築移転し、LPGガス充填施設の充実を図るなど、新たなスタートを切りました。引き続き、産業や医療分野へのサポートに結びつく事業に力を入れるほか、生活に関わるエネルギーの供給や提案など家庭に寄り添ったサービスも大切にしていきます。『地域社会へのサポートとお客様第一』を信条にこれからの将来に向けてチャレンジします。

●所長さんのひとこと



横手営業所長
おぼろ 小原 宏美さん

当社は、地元根差した企業として、創業から60年以上にわたり皆さまに支えられ成長することができました。昨年12月の新社屋移転に伴い、自社系列のガスセンターを統合し、事業の拡大を図り操業しています。事業の中核である高圧ガス製造・販売を通じて、地域の暮らしを支え、産業の発展に貢献できるやりがいのある職場です。ぜひ一緒に働いてみませんか。

●センパイのひとこと



入社2年目
はると 佐々木 遥斗さん

高校卒業後に入社した1年目は、先輩に付きっきりで教えてもらいながら、ガスに関する知識を身に付けることができました。2年目の今年は、主にLPGガスの充填業務を任される傍ら、目標の資格取得に向けても積極的に取り組んでいます。従業員の平均年齢が40歳と若く、社内には活気があり、歳の近い先輩たちの昼食時間は、笑い声が絶えない明るい職場です。



▲地下タンクの設置により、広々としたスペースで灯油の給油が可能



▲安全確認を徹底して行われる、新しいLPGガス充填施設での作業